

## 実用事例のご紹介

### 【小型月着陸実証機 S L I Mの配管サポートブラケット】

弊社の3Dプリンター造形品が、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の小型月着陸実証機「S L I M」に使用されました。

「S L I M」とは2024年1月20日に日本で初めて月面着陸した宇宙航空研究開発機構（JAXA）の無人探査機です。

「S L I M」の小型化、軽量化を図る目的で、部品の一部に3Dプリンター造形品（ADC12）が採用されました。

#### 《実用事例》

- 顧客名 : 三菱重工業株式会社
- 用途 : 配管サポートブラケット
- 材質 : ADC12
- サイズ（重量） : X:20.0mm Y:40.0mm Z:13.1mm (16.1g)
- 造形時間 : 241分
- 3Dプリンター造形品が採用された理由：
  - ・軽量化のためアルミが採用された。
  - ・機械への取付部が円弧形状なため切削加工するには時間（工数）が掛かる。必要個数が少数であり、加工プログラムや試作に掛かる工数を考慮すると3Dプリンター造形の方が低コストなため。



#### ■本件に関するお問合せ先

白銅株式会社 特注品営業部 特販課

Email : [tokuhan@hakudo.co.jp](mailto:tokuhan@hakudo.co.jp) TEL : 03-5223-8922